

京北地域保育所の今後の在り方方針（素案）

【概略版】

資料 1

●基本的な保育所の在り方

常に子どもの最善の利益を考え、最大限望ましい保育環境を維持し、質の高い保育サービスの提供を基本に、

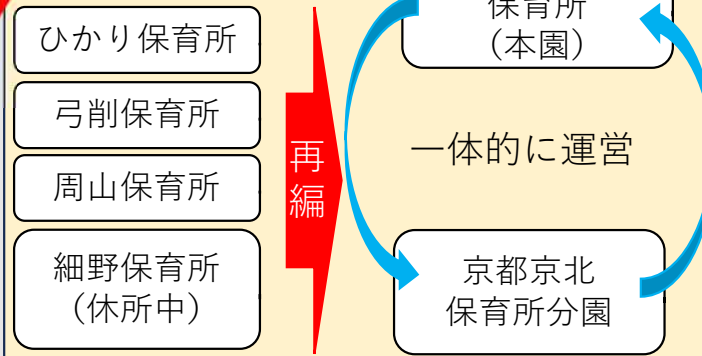
統合等による保育所の再編を行うことで、将来に亘り持続可能なものとして、安心して子育てできるよう、**地域に根差した保育所としての保育の提供を維持**

×
京北地域の魅力が詰まった保育所として機能するよう、地域・関係機関とともに取組む

【保育所再編案（令和9年4月～）】

- ・京北地域の全保育所を再編し、新たに「（仮称）京都京北保育所（本園・分園）」を設置
- ・本園は当面の間、現在の「弓削保育所」を、分園は現在の「ひかり保育所」を活用

<再編イメージ>



●中・長期的な保育所の在り方

- ▶再編から5年後を目安に京都京北小中学校・京北出張所付近に保育所の新設・移転を目指す。
- ▶分園は、移転のタイミングで、児童数や保育ニーズ等を踏まえ、在り方の見直しを検討

<移転の主な目的>

- ・交通網の観点から、送迎等の利用者負担の軽減
- ・災害等のリスクを最大限回避
- ・小中学校や学童との連携強化による、更なる**保育内容の充実や質的向上** 等

【新たな京都京北保育所に向けてのアクション案（4つの柱と12の取組項目）】

1 保育内容の充実及び京北地域の特色を活かした保育の展開

- ①子どもの発達に応じた最適なクラス編成の実施
- ②これまでの各保育所の取組を引き継いだ、京北地域の特色や自然を活かした保育の実践
- ③京都京北小中学校との持続的な連携・接続の強化や、京北学童クラブや京北にここ広場等の関係機関との連携の充実
- ④保育環境の向上に資する施設の必要な環境の整備

- ⑤日々の保育は分園で行うが、活動内容に応じて本園と合同で行うなど、一体的に運営
- ⑥両園で受入歳児を「産休明け」からに拡充

2 本園・分園の一体的な運営体制等

3 多様な保育ニーズへの対応

- ⑦本園の開所時間を延長し、18～19時の「時間外保育」を実施
- ⑧「一時預かり事業」を新たに実施
- ⑨「こども誰でも通園制度」を新たに実施するとともに、保護者を対象とした子育てに関する相談や支援機能を拡充

- ⑩京北地域の遊び場確保のため、土曜日に小学生がいる家庭などにも保育所を一般開放
- ⑪京北地域に移住を検討している、県外・市外在住の方も、「一時預かり事業」の対象とし、移住支援政策として拡充
- ⑫京北保育所の1日体験ツアー等の、京北地域における保育をPRする事業の企画、実施

※⑧、⑨再掲

4 地域の子育て支援・移住促進の取組充実